

遊び時間は終わった、子供たちよ：

プーチンの西側エリートへのメッセージは、チャーチルの「鉄のカーテン」演説以来、最も重要

Dmitry Orlov

ClubOrlov

October 29, 2014

(D・オルロフによる) コメント：先週のソチの Valdai 会議におけるプーチンの演説は、代替ニュース世界でも、西側の主流“売春”メディアであるロシア嫌いのウソの巣窟においても、大いに取り上げられている。演説の全文は、Paul Craig Roberts のコメンタリーとともにここで読むことができる。<http://www.sott.net/article/288000-Paul-Craig-Roberts-Vladimir-Putin-is-the-leader-of-the-moral-world>

(訳者：Valdai International Discussion Club は、2004年に始まった国際討論会議、最初の開催地ロシアの Lake Valdai にちなむ。)

次の記事も参照：

「プーチンのソチにおけるヴァルダイ会議演説からのキー語録：西側帝国への彼のこれまでの最も手厳しい言葉」<http://www.sott.net/article/288001-Key-quotes-from-Putins-Valdai-speech-in-Sochi-His-strongest-yet-against-the-Western-Empire>

「ヴァルダイ 2014：プーチンが彼の生涯で最も重要な演説を行う」<http://www.sott.net/article/288144-Valdai-2014-Putin-just-made-the-most-important-speech-of-his-career>

「プーチン：世界は、“国際社会”として通っているアメリカとその衛星国家によって、破壊されつつある」<http://www.sott.net/article/287888-Putin-World-is-being-destroyed-by-US-and-its-satellites-who-pass-themselves-off-as-the-international-community>

「前オーストリア首相シュッセル：〈世界はヘゲモニー・モデル（すなわちアメリカ）を脱しつつある〉」<http://www.sott.net/article/288145-Former-Austrian-Chancellor-Schussel-World-moving-away-from-hegemony-model-ie-America>

「ありのままに言えば：アメリカは自分の利益に応じて“世界を造ってきた”ープーチン」<http://www.sott.net/article/287863-Telling-it-like-it-is-USA-has-shaped-the-world-according-to-its-interests-Putin>



世界の英語を話す人々の大部分は、数日前の、ソチのヴァルダイ会議でのプーチン演説を聞き逃している。そしておそらく、この演説のことを聞いた人々も、それを読む機会を得ておらず、その重要さに気づいていないだろう。（そういう人たちのために、私は下に、その全文をペーストしておいた。）西側メディアはそれを懸命に、無視するか、あるいはその意味を捻じ曲げようとした。あなたが、プーチンについて何を考えようと、また考えまいと（太陽や月のように、彼は、あなたが意見を形成するように存在していない）、これはおそらく、1946年3月5日のチャーチルの“鉄のカーテン”演説以来、最も重要な政治演説である。

この演説でプーチンは、急激にゲームのルールを変えた。これまでは、国際政治のゲームは次のように行われていた——政治家たちは、国家的主権という心地よいフィクションを維持するための、公的な宣言を行っていた。しかし、それは正確にはショーであって、国際政治の実態とは何の関係もなかった。それは一方で、秘密の裏部屋での交渉を行うもので、現実の取引はそこで行われていた。これまでプーチンは、ロシアが同等の国家として扱われることを期待して、このゲームを行おうとしていた。しかしこうした希望は打ち砕かれてきた。そこでこの会議で、彼は、このゲームが終わりであることを宣言し、エリート一味や政治リーダーたちの頭越しに、人々に向かって直接、話すことによって、西側のタブーを公然と破ることにした。

ロシアのブロgger [chipstone](http://chipstone.livejournal.com/1219546.html) は、プーチン演説の最も際立つポイントを、次のように要約している—— <http://chipstone.livejournal.com/1219546.html>

1. ロシアはもはや、ゲームに加わって、些末事についての裏部屋交渉には応じない。しかしロシアは、もしそれが集合的安全保障に寄与し、公平さに基づき、双方の利益を考慮するものならば、真剣な対話と合意をする用意はある。

2. 地球的な集団的安全保障のシステム全体が、今は崩壊している。もはや、いかなる国際的安全に対する保障もない。そして、それを破壊したものは名前をもっている——アメリカ合衆国である。

3. New World Order を創ろうとした者たちは失敗し、砂上の楼閣に終わった。どんなものにせよ、新しい世界秩序を創るべきか否かは、ロシアが決定することではない。しかしそれは、ロシア抜きには決定することのできないことである。

4. ロシアは、社会秩序に改革を取り入れる保守的なアプローチに賛同する。しかし、それを取り入れることが正当かどうかを見るために、そのような改革案を調査し議論することに吝か^{やぶさ}ではない。

5. ロシアは、アメリカの、絶えず拡大する“混沌の帝国”の創り出した闇の領海で、釣りをするつもりはない。またロシア自身の新しい帝国を創ることに興味はない。(それは不必要である。ロシアの仕事は、すでに持っている広大な領土を開発することにある。) またロシアは、世界の救世主として行動したいとは思わない——過去においてやったように。(記者：膨大な犠牲者を出して、世界をナチスから救ったのはロシアであって、アメリカやその同盟国ではない。)

6. ロシアは世界を、自分の似姿に作り替えようと試みはしない。しかしロシアは、他のどんな者によっても、その者の形に作り替えられることを許しはしない。ロシアは自分を世界から孤立させようとは思わない。しかし誰でも、ロシアを世界から孤立させようとする者は、必ず相応の報いを受けるだろう。

7. ロシアは混沌が広がることを望まず、戦争を望まず、戦争を始める意志は全くない。しかし今日、ロシアは、地球戦争の勃発がほとんど不可避と見ていて、その準備をしており、準備を継続して行っている。ロシアは戦争はしないが、それを怖がり^{おそ}はしない。

8. ロシアは、いまだに NWO を建設しようとしている者たちを挫く、積極的な役割を受け持つつもりはない——彼らの努力が、ロシアの重要な利益を侵害し始めるまでは。ロシアはむしろ傍観して、彼らの貧弱な頭によって奪えるだけの、沢山のものを奪うのを見ているだろう。しかし、ロシアをこの過程に引き込んで、ロシアの利益を無視する者たちに対しては、苦痛の本当の意味を教えてやるだろう。

9. ロシアの外的な、そしてそれ以上に、内的な政策においては、ロシアの権力は、エリー

トや彼らの裏部屋取引によっては動かされず、民衆の意志によって動くだろう。

これら 9 項目に、私はさらに 10 番目の項目を加えたい——

10. 世界大戦を避けるような、ある新しい世界秩序を建設するチャンスはまだある。この新しい世界の秩序は、必然的にアメリカを含まなければならない——ただし、それは他のあらゆる国家と同じ条件においてのみであり、国際法と国際協定に従い、すべての一方向的な行動を中止し、他国の主権を完全に尊重するという条件においてである。

これを要約すればこうなる——遊びの時間は終わった、子供たちよ。おもちゃを片付けよ。今は大人が決断すべき時だ。ロシアはその用意があるが、世界はどうか？

プーチンのスピーチは[ここ](http://www.sott.net/article/288000-Paul-Craig-Roberts-Vladimir-Putin-is-the-leader-of-the-moral-world)。